

名古屋市瑞穂区高辻町 14-18

2014年12月4日

各位

日本特殊陶業株式会社

「人とくるまのテクノロジー展 2014 名古屋」出展のお知らせ
～乗用車向け吸気酸素センサを初出展～

日本特殊陶業株式会社(社長:尾堂真一、本社:名古屋市瑞穂区)は、12月11日、12日の2日間、ポートメッセ名古屋(名古屋市)にて開催される「人とくるまのテクノロジー展 2014 名古屋」に出展しますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

●見どころ『乗用車向け吸気酸素センサを初出展』

今回の出展では、2014年10月に報道発表した「乗用車向け吸気酸素センサ」を初めてご紹介します。「乗用車向け吸気酸素センサ」は、エンジンの吸気側に取り付け、酸素濃度を計測するセンサです。今後、先進諸国で拡大が見込まれる、EGRシステム(*)搭載エンジンに利用され、燃費向上や窒素酸化物(NOx)生成量の削減に貢献します。ブース内では、製品説明パネルを展示し、ご来場の皆さまに車載用センサのリーディングメーカーとして環境社会に貢献する当社の技術をご紹介します。

(*)EGR(Exhaust Gas Recirculation)システム・・・内燃機関において燃焼後の排気ガスの一部を取り出し、吸気側へ導き再度吸気させるシステム。主に排出ガス中の窒素酸化物(NOx)低減や燃費向上を目的として導入されている。

●出展概要

当社は「クルマ社会に貢献する、先進のテクノロジー」をテーマに、上記センサの他、燃費向上やエミッション低減をはじめ、さまざまな形でクルマ社会に貢献する製品を展示いたします。

独自の技術を持つ内燃機関関連製品では、ガソリンとディーゼルそれぞれのエンジントレンドに対応したスパークプラグ・グロープラグやエンジン制御に関わる各種センサを展示します。加えて、コア技術である“セラミックス”を応用した水素漏れ検知センサ、車載デバイス用半導体パッケージ、窒化珪素製ベアリングボール、自動車産業をはじめとした「ものづくり」に貢献する切削工具など幅広い分野でクルマ社会に貢献する製品を出展いたします。

●ブースイメージ図



■日本特殊陶業株式会社について

当社は、1936年に創業し、名古屋市に本社を構える総合セラミックスメーカーです。内燃機関におけるスパークプラグ、排気酸素センサにおいては、世界トップシェアを有し、また、半導体部品におけるパッケージ、機械工具、医療用に用いられるバイオセラミックス、産業用セラミックスなど幅広いラインアップを提供しております。世界中に販売・製造拠点を有し、12,000名を超える従業員が世界の皆さまに新たな価値を提供できるよう取り組んでいます。現在は、持続可能な社会における環境エネルギー、次世代自動車、医療などの製品開発にも取り組んでおります。今後も、「ナンバーワンかつオンリーワンのものづくり」を目指し、変革と挑戦を続けてまいります。

詳細は、当社 Web サイトをご覧ください。

<http://www.ngkntk.co.jp/company/event/index.html>

以上

■お問い合わせ先

広報室 抱井

電話:052-872-5896